

道の名称 プレート& 総合案内板が できました！

六角橋自治連合会では、誰もが安全安心に暮らせるまちづくりを目指して、慣れ親しんだ道に愛称をつける『わが町六角橋 道の愛称プロジェクト』を令和2年度に立ち上げました。六角橋は住宅が多く目印が少ない地域ですが、道の愛称を利用することで、災害時や緊急時に位置情報を早く伝えることができます。愛称の応募には小学生から高齢者まで幅広い年齢の方からのべ412件の応募があり、人気投票を経て4つの道の愛称が決まりました。

神橋小学校2年生児童のみなさん、六角橋中学校の生徒のみなさんに愛称プレートのデザインを依頼し、住民の方々のご協力により沿道に愛称プレートが設置されました。また、道の愛称の総合案内板を杉山大神に設置しました。プレートを一つひとつ探しながら、ぜひ、まち歩きを楽しんでみてください。この活動が、みんなが六角橋をもっと好きになるきっかけになれば幸いです。

これからもみんなで力をあわせて、楽しいまちをつくっていきましょう。

2022年2月

【六角橋古道】

天正年間に寶秀寺が開山された頃からあると言われている古道で、ヤマトタケルが通ったという伝説もあります。六角橋村の主要な道の一つでした。



【神橋さくら通り】

神橋小学校と岸根公園を結ぶなだらかな坂道で、春に桜がともきれいに咲く場所があります。愛称決定記念として、六丁目公園に“おかめ桜”を植樹しました。



【地藏通り(旧小机道)】

厄除け・子育てにご利益があるとされる祐天地蔵尊があることから名づけられました。昔は『小机道』と呼ばれバスが通っていたそうです。毎年9月に開催される杉山大神の祭礼では、各町の神輿が集まり大変賑わいます。



【教会通り】

六角橋教会と天理教教会があることから名づけられました。北町・上町・東町の三つの町会を通る、静かな小路です。

